

第2次みよし市総合計画策定に伴う地区まちづくり懇談会

会議名	第2次みよし市総合計画策定に伴う地区まちづくり懇談会(緑丘地区)	
日時	平成29年7月1日(土) 午前10時～12時10分	
場所	三好丘交流センターホール	
出席者	<p>(市長)小野田賢治 (政策推進部長)増岡総一郎、(政策推進部参事)佐藤正美、(総務部長)原田清明、 (市民協働部長)柴田修、(福祉部長)小野田朗、(子育て健康部長)近藤正敏、 (環境経済部長)廣戸伸行、(都市建設部長)宇野勉、(教育部長)柴田圭一</p> <p>(事務局)政策推進部 溝口次長 企画政策課 竹内課長、近藤副主幹、三浦主任主査、押領司主査</p> <p>(参加者数)40名</p>	
次第	<p>1 あいさつ(市長)</p> <p>2 議題 (1)第2次みよし市総合計画の策定について (2)第2次みよし市総合計画の策定にむけての意見提案</p> <p>3 あいさつ(お礼のあいさつ・市長)</p>	
会 議 録		
1 あいさつ (市長)		
<p>皆様おはようございます。市長の小野田賢治でございます。本日は公私共にご多用の中、お集まりいただき誠にありがとうございます。また、日頃本市の行政に格別なるご理解、ご協力を賜りまして、重ねてお礼を申し上げます。</p> <p>さて、第2次みよし市総合計画は、平成31年度から平成50年度までの20年間の基本構想と、10年間の基本計画、3年ごとの実施計画を策定していく、大掛かりなものでございます。基本的な考え方につきましては、この後パワーポイントを使って説明いたしますが、今回の地区まちづくり懇談会において、本市や皆様の住んでみえる地区を将来どのようなまちにしていきたいかを、直接皆様からご意見やご提言をお聞きして、新総合計画の基本構想、基本計画を作る参考にしたい、そして皆様と一緒にまちづくりを進めたい、という強い思いがございます。</p> <p>皆様の忌憚のないご意見・ご提言をいただきますようお願い申し上げます。簡単ではございますが挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願いいたします。</p>		
No.	行政区・性別	意見等
1	三好丘桜・男性	<p>まちづくり全体の話ということで、特に三好ヶ丘駅周辺の魅力を向上させたいと思っている。みよしの顔でもあり、多くの方が利用する駅である。現在も駅前のロータリーの整備の構想が出ているという話も聞いているが、ロータリーの整備だけでなく、例えば周辺の商業施設の整備なども必要と考える。せっかく大学もあるので若者がたくさん利用することを踏まえれば、さまざまな道筋も見えてくるだろう。</p> <p>例えば、用途地域の変更など、都市計画上の問題もあるかもしれないが、駅前には商業の新しい誘致を含めて、カリヨンハウスだけではなく複合的な魅力を作ってほしい。</p> <p>東海学園大学への道沿いには農地があるが、農地転用で地場産業やみよしの農業を紹介する場所にしてはどうか。駅前をみよし市の魅力を総合的に向上させ、思わず降りたくなるような駅に変えていきたい。</p>
2	三好丘桜・男性	<p>三好ヶ丘駅前の活性化には賛成である。それと同時に、駅前の再整備に関して、車線運用の変更(現在のロータリーは二重ループになっているが、駅前に流入する車線を2車線から1車線に、流出する車線を3車線から2車線に変更)すると聞いたが、駅前が渋滞して住民が混乱すると思うので見直してほしい。</p> <p>住民が知らないうちに話を進めないでほしい。住民の理解の下に進めてほしい。</p>

No.	行政区・性別	意見等
3	三好丘桜・男性	駅前の郵便局について、駅の方から郵便局に入る切れ目が狭い。2、3台並ぶと右側車線は完全に詰まってしまい非常に危険である。郵便局に入ると、特にお歳暮シーズンなどは、郵便局の駐車場が少ないため、渋滞が発生する。路上駐車も多く、近隣の方が不快な思いをしている。その辺りを今回の再開発にあたって検討していただきたい。
4	ひばりヶ丘・女性	駅前の郵便局はよく利用するが、本当に混んでいる。ひどい時は20分ほど局内で待つ。駐車場も少ないし、離れた所にはあるがそこは共同で止めて良い場所、いけない場所があり、分かりにくいので何とかしていただけると助かる。駅の駐車場整備も検討してほしい。
5	三好丘桜・女性	市役所ではなく、関係するのは警察になると思うが2点述べたい。 ①以前、メグリアと野村三好丘ヒルズの交差点の信号運用が、駅前に続き急に歩車分離になった時に、押しボタンにしてほしいという要望がすぐに挙がったが、それが通るのに1～2年かかった。ありがたいが対応が遅い。駅前は送迎が多く混雑する時間帯の歩車分離の信号運用はよいが、夜間は歩行者は少ないので押しボタンにしたらよいのではないか。データを収集したり、お金のかかることとは思うが、警察の方にみよし市からも提案していただけるとありがたい。 ②消防署前から黒笹方面へ向かう県道が大規模な土地開発がされている。直接は県の事業になるのか。新しい道路ができるのか、住宅地ができるのか、全体像が見えない。どこに聞いたら分かるのか。
6	三好丘緑・男性	p.9の「みよし市の弱み」について疑問点がある。 ①「自動車産業への依存」とあるが、自動車産業については皆さんご存知とは思いますが、有機からセラミックまで、鉄鋼までも含む、非常に裾野の広い産業である。なぜそこに依存することが弱みにあたるのか。非常にトヨタ自動車に失礼であり、みよし市がこのように考えているのであれば、非常に大きな問題なのではないか。こういうところに記載して市民の考え方に影響を与えるというのは非常に問題であるとする。 ②「犯罪率が高い」とあるが、防犯をやっているが、みよし市の犯罪率が高いとは思えないが、何かのデータに基づいているのか。 ③将来的な少子高齢化というが、20年後は90歳になっている。高齢者の方には失礼かもしれないが、今の人口構成から高齢者の部分が消えるわけである。計画を立てても20年間経つと世の中の様相は高齢化の部分はガラッと変わってしまう。もう少し産業を構成する人口をコントロールする方が大きな問題なのではないか。そういうところを第2次総合計画にうまく織り込んでいかないといけないのではないか。
7	ひばりヶ丘・男性	総合計画策定に関する説明には今回初めて参加した。現行の計画ではどんな反省があって、それをどのように第2次総合計画に生かしていくのかが分からない。この第2次計画が良いのかどうかも分からない。現行計画の振り返りを教えていただきたい。 なぜ新しい総合計画が必要なのかというところで、社会情勢の変化の中で予想できなかったのは、リニア新幹線くらいかと思う。では新しい総合計画が本当に必要なのがよく分からなかったのも、現行計画の状況をお聞かせいただきたかった。まだ結果が出ていないということなので、振り返りはできないというご返答かと認識をしたので、振り返りをさせていただいて、第2次総合計画に織り込むということをぜひお願いしたい。
8	不明・男性	現行計画のレビューが配布された資料の中に全くない。これから質問しようと思っていることが、現行計画でほとんど完結しているのかもしれないし、全く取り組んでいないのかもしれない。それがわからない。
9	三好丘緑・男性	今のご質問は次のように考えたら良いのではないか。 資料のp.12に現行計画についてが記載されている。地区別構想は3つに分けている。我々が住んでいる「きたよし」は緑と暮らしを大切にする住宅地ということで構想されている。その中で、p.14に記載されている「きたよし」地区の構想は、現状ではどうなっているのか、果たして道路はきちんと整備されているのか、幹線道路や生活道路はどうなっているのか。我々はそういったことを判断しながら、現行計画で足りないもの、第2次総合計画に向けての要望などを考えるための判断材料がこの資料であると捉えてはどうか。これと我々の要望とを併せて話し合いを進めていったら良いのではないか。

No.	行政区・性別	意見等
10	三好丘桜・男性	<p>①資料のp.14にある「鉄道駅の利便性を生かし、歩いて暮らせるコンパクトなまち」というのはこれからは非常に重要だと思うが、このきたよし地区においても、鉄道の利便性の高い地域に住んでいるのはおそらく半数で、残りの半数はコンパクトとは思えない地域に住んでいる。高齢になって自動車の運転がしにくいような環境になると、相変わらず従来どおり車がないと不便なまちであると、非常に生活がしにくいと感じる。そのような不便を感じる人が出てこないようなまちづくりを検討していただきたい。道路は整備されていくがそれは自動車運転者のためのものであり、運転したくなるような状況がこのまま増え続けるのは良くないのではないかと。</p> <p>②駅前まで歩くと20分ほどかかるので、できれば自転車で行きたいが、駐輪場がない。この地区は遊歩道が整備されていてよいが、イオンモールあたりまで自転車道の整備や、途中で休めるような遊歩道の整備など、つまりは車に頼らずに生活できるようなことを考えていただきたい。</p>
11	三好丘緑・男性	<p>①定年退職して間もなく65歳になる。自分が住むことを考えると車がないと非常に不便である。車を運転する時に、三好丘の中でも最近では送迎車両が多くて渋滞が発生している。これは元を正せば、三好ヶ丘駅の利用者の行き帰りの送迎車両が原因の渋滞である。それを考えると、外から人を呼び込んで三好丘をもっと賑やかなまちにしていきたいと考えるなら、駅から降りたらどうするか、バスもないし、三好丘の中心に行くにもさんさんバスでは1時間かかる、という問題がある。バスルートを考えることは必要であるし、駐輪場も必要とは思いますが、例えばレンタル自転車など最近では日本でも盛んであり、海外では利用者も多いようである。自転車があれば行きたいところに自由に行ける。みよし市内でも、駅だけでなく市役所など拠点となる場所に駐輪場をいくつか設置し、レンタル自転車を置いてはどうかと思う。</p> <p>②三好公園は駐車場が整備されていて利便性が良いが、三好丘の周辺には公共駐車場が少ない。さんさんバスのルートを考えてときに、P&BR(パーク&バスライド)の駐車場を設置することなども検討していただけたら、もっと人を呼び込むことができるのではないかと。</p>
12	不明・男性	<p>三好ヶ丘駅からアイモールに向かう公共交通の充実が大事であると考えている。自動車ではなく、徒歩や自転車などの他に、路面電車を引くなど夢のある話があってもよいのではないかと。例えば、自転車をバスに乗せて移動できるなど。自動車に頼らなくてもよいまちづくりを進めてはどうか。</p> <p>夜、食事に行くとき帰りが困る。飲むと車の運転はできないので、三好ヶ丘駅から電車に乗って豊田まで飲みに行く。みよし市役所の周辺にも飲食店はあると思うが、公共交通が整備されていれば豊田に行かなくてもみよしで食事をして、市内でお金を落とすこともできる。</p>
13	三好丘緑・男性	<p>資料p.9のみよし市の弱みにも記載があるが、「まちづくり活動への参加率」について、特に全市で実施しているごみゼロ活動時に中学生の参加が皆無である。理由を聞くとクラブ活動が早朝からありそれが理由となっているようである。中学生もまちづくり活動へ参加できるような体制を整えていただきたい。</p>
14	ひばりヶ丘・男性	<p>人が集まるには、収入源があることと、出産から子育て、老後まで安心して生活できることが重要であり、その中でも自分の老後のことを考えると、特に介護・健康については行政として支えてもらえるのか、具体的に示してもらいたい。</p> <p>付け焼刃な方法でやっていくと財政を圧迫するだけなので、優先的に取り組むべきことを長期的に継続して行ってほしい。</p>
15	三好丘桜・男性	<p>資料のp.8のみよし市の強みの中に記載されている「住みやすさランキング」は、毎年発表されており興味があって見ているが、やはり気になるのは長久手市である。本市から非常に近く、住みやすさランキングが1位か2位と最近急上昇しており、皆さんもご存知かと思う。個人的な話ではあるが、30年前学生だった頃は名東区の藤が丘に住んでいたが、みよし市も長久手市も田舎で、車でもバイクでも自転車でも走りやすく、そういった楽しみができるまちだった。私にとってはどちらも似たような環境のまちだったという記憶がある。</p> <p>現在は長久手市の方が開発が進み、大型のショッピングモールや海外の商業施設なども誘致されており、病院や学校、飲食店なども充実している。バスなどの状況は把握していないが、住みやすい地域となっている。最近も時々長久手市に行くことがあるが、昔の面影はほとんどなく、逆に寂しい気もする。やはり住みよさランキングの上位に位置付けられるだけあって、若い世代の流入人口も多いと聞いている。良い意味で競争し、20年、30年後にはみよし市が肩を並べられるような施策を、長久手市をある意味真似ながら、独自性も取り入れながら、魅力のあるまちづくりをしていただきたい。</p>

No.	行政区・性別	意見等
16	三好丘桜・男性 (ノザキ)	<p>①小学生の児童数が、学区ごとでアンバランスである。緑丘小が約400名に対し、北部小は約600名となっている。また、あざぶの丘の児童数は現在94名だそうで、全員は難しくアンケート等で調整も必要となると思うが、北部小から緑丘小にすればバランスがよくなるのではないかと。簡単にいかないことは重々承知しているが提案したい。あざぶの丘の子どもたちは北部小に通うには、行きはよいが帰りは坂道で1時間弱かかると聞いている。交通事故が起きてからでは遅いと思うのでその点についても考慮して検討していただきたい。</p> <p>②シルバー人材センターで北部地区の公園関連の業務に携わっているが、公園19か所、緑地19か所の計38か所についての仕事をしている。トイレがほとんどの公園にあると思うが、根浦の公園は1号から5号まであり、根浦2号公園には立派なトイレがあるが、その他4か所はいずれもトイレがない。計画されている公園にはいずれもトイレを造らない、とお聞きした。どうしたらよいかを尋ねると、付近のお宅のトイレを借りるよと言われた。ベイシアのすぐ南の根浦3号公園では、塀に向かってシルバー労働者の4、5人が立小便をしているところを近所の方が警察に通報し、市役所の方に電話があり、シルバー人材センターの事務所に連絡があった。ベイシアのトイレを借りたらよいと言われたが、ベイシアは10時開店であり、我々は8時から仕事をしているので借りることはできない。市の方では簡易トイレの設置を計画しているようである。我々が公園で仕事をしているときに北部小の児童数名が居たので、「トイレに行きたくなったらどうするか」を尋ねたところ、「家に帰る」と答えた。児童の家はベイシアよりも遠くにあるとのことだった。 ぜひ公園にトイレの設置を検討していただきたい。</p>
17	ひばりヶ丘・女性	<p>小学校区の話だが、通学時間も考慮してほしい。低学年が1時間近くも歩くのと、30分程度で済むのでは大きな違いである。1年生はまだ6歳で、知人のお子さんはあまりに小学校が遠いので、行くのを泣いて嫌がったという話も聞いたことがある。</p>
18	三好丘緑・男性	<p>子どもたちは夏は学校に水筒を2個持って行き、途中のお宅で水をもらっている。下校時には、小学校から一山越えて蒔生のあたりでは歩道から外れて田んぼで休憩している。前の方には高学年、後ろの方には低学年と広がって歩いている。</p> <p>子ども会の問題が発生すると言うが、緑丘地区でも新たな住宅地が50、60軒ほど新築されており、そちらでは小学校区を三好丘とするか、小清水(豊田市)とするか、自身の意志で決めることができる。もともと豊田市にあたるのでそこでも子ども会の問題は発生する。それは子ども会同士で話し合えば済む話である。緑丘では現状でもそうしているので、子ども会のことはそんなに大きな問題ではない。</p> <p>今に問題が起きる。1時間弱の道のりを歩く子どもたちは、学校を出るときにはまとまっているが、あざぶの丘につく頃には1kmほどに広がっている。豊田市内で頻繁に起きている不審者が出没したら手に負えない。外灯もないし、朝夕の登下校の見守りをしていた人もかなりの高齢となっている。保護者も最寄りの交差点までしかついて行けない。行政区が校区と頑なに言われると、どうしても対応してもらえないのかと思ってしまう。もう少し実態を踏まえて検討していただきたい。</p>
19	ひばりヶ丘・男性	<p>実際に小学校に入学するときに、小学校に関する相談はされていないと思う。例えば今の話であれば、あざぶの丘の児童は北部小学校区と最初から決められているので、保護者はあきらめている。入学する1年ほど前から小学校区の検討については連絡していただかないといけない。</p> <p>越境という問題や子ども会など、さまざまな点で問題はあると思うが、途中から転校することになると、隣同士で小学校が違うということになることも考えられる。高学年ならもうこのままでよいと考えるかもしれないが、低学年はやはり近くて安全な方がよいと考えるのが親の常である。ただ単にこういった意見があった、というだけではなく、実際に歩いて確認されてはどうか。</p>